

桜の庄兵衛

information vol.30

5月5日(木・祝)

昼の部 13:00開演(12:30開場) 夕の部 16:30開演(16:00開場)

音楽の流れに沿った、美しく心地よい竹下清志のアレンジ。
信頼関係のある仲間であるからこそ成り立つ音の一体感。
POPS、JAZZを中心に、時に切なく、熱く、あたたかく広がる世界。
「TRICICLO」はスペイン語で三輪車の意味。
越智順子新譜「I want you」の原型となったユニット。

さわさわと風も緑に コンサート

出演

TRICICLO(トリシクロ)
越智順子(vo)/竹下清志(pf)/左納実子(cello)

プログラム

Dona Dona
Flamingo
Summertime
Will you love me tomorrow
It's too late
etc

プロフィール

越智順子 高知県出身。大阪在住。
あたたかく力強いその声をひっさげて、全国各地を飛び回るJAZZ、POPSシンガー。
その数は年間150ステージを越える。
「音楽はライブ!」という彼女の楽しいおしゃべりとともに繰り上げられる音楽世界は、JAZZシーンにおいて高い評価を得ている。
1999年自主制作CD「EXPOSURE」リリース。Stereo誌99年度下半期最優秀録音受賞。
2001年メジャー・デビューアルバム「JESSE」リリース。
2002年David Kikoski(pf) trioとともに「What do you want for "LOVE"?」リリース。
2004年ストリングスをフィーチャーした「I want you」リリース。

竹下清志 大阪出身。大阪在住。
4歳からピアノを始める。大阪教育大学特音ピアノ科卒業。
JAZZのみに拘らず、クラシック、ポピュラー、タンゴと幅広く活動。
共演ミュージシャンは数知れず、ジミー・スミス、アート・レイキー、アル・フォスター、レイ・ブラウン、ハンク・ジョーンズ、オテロ・モリノー、日野皓正、北村英治、ジョージ・川口、中本マリ、伊藤君子、久保田利伸、大阪フィル、名古屋フィル、東京シティーフィル等。

左納実子 奈良県出身。奈良在住。
京都市立芸術大学音楽学部卒業。
卒業後ハンガリーのリスト音楽院に留学。
ブダペスト、奈良でソリサイタルを行った後、KYOTO弦楽四重奏団のメンバーとして室内楽の分野で活動。
クラシックのみならず、様々なジャンルで活動中。



昨春好評だったチェリスト・近藤浩志氏、待望の再来は高校の同級生というピアニスト・鷺尾惟子さんを迎えての「大人の時間」。5年ぶりの共演だと話されたけれど、やはりお互いへの安心感からか、演奏にゆとりが感じられた。

「1曲目にすることはめったにない」というフォーレ作曲の【エロジー】から、ゆっくりと始まる。スマトラ沖地震など最近続いている悲しいニュースに、追悼の気持ちを込めて。続いて、サン＝サーンスの「動物の謝肉祭」から、チェロの名曲【白鳥】。優しさあふれるピアノの音色に包まれて、たおやかに湖を行き来するスワンが目に見え、優雅な白鳥に心が洗われたあとは、フォーレに帰って【夢のあとに】。どこか旅情的な哀愁が漂う世界観に身をゆだねていた。

そしてメインディッシュの【ル・グラン・タンゴ】へ。ピアノがロシアのチェリスト・ロストロヴォーピッチの為に書いた超技巧的な曲で、許されない恋にはまってゆくかのような情熱的なメロディから、時折弦をたゆませる音色が悩ましく、色っぽい。

休憩が明けて再び演奏者入場で、ピアニスト・鷺尾さんの鮮やかなお姿に「わあ〜」と声が上がります。紺の和服をアレンジの生地と合わせてドレス調に仕立てた衣装で、「日本家屋のこの雰囲気に合わせてみました」とご本人。「その顔には笑っちゃうし、写真写りもよくない、気の利いたことも言わない。でもそのままがいい。僕のことを好きだという気持ちだけでいい」。こんな愛らしい歌詞の紹介に続く【マイ・ファニー・バレンタイン】は、メロディカのカジュアルな音色が、ココロに温かく、とろけるように癒されていく。続く【おじいさんの古時計】では、



ヘンリー・クレイ・ワークの作曲エピソードが紹介され、耳慣れた曲が新鮮に聞こえてくる。作曲当時売れなかった【続おじいさんの古時計】は、近藤氏のアレンジで息を吹き返し、古時計の時報を告げる箇所がピアノでアクセント的に入るなど、軽やかで懐かしさが印象的。日本家屋・客間にふさわしい曲を…と演奏された【荒城の月】では、西洋の楽器チェロが文化の垣根を超越して、忘れかけていた“日本”を思い出すひとときを創り出す。続く【故郷】は、会場が一つとなって歌い上げていた。

プログラムを締めくくるのは、【ダニーボーイ】。単音のピアノ伴奏に乗せた詩の朗読は、何度聞いても目頭が熱くなる。戦地に向かう息子へ…「戦争で手柄なんか立てなくていい、必ず帰っておいで」。朗読を終えて、ゆっくりチェロ演奏が始まる。詩を優しく包み込むような、やわらかな音色が心に染み渡る。

大拍手に迎えられたアンコールは、【アメージング・グレイス〜宵待草2005】。牧師さんが作曲したという「アメージング…」のチェロのソロ演奏は、牧歌的で心にやさしい。ピアノが加わって続く「宵待草」では、メロディカも挟んで春の夕暮れのような哀愁が漂う。ラストを飾るのは、昨年12月3年のガン闘病生活を終えて天国へ召された歌手・KOUTAROさんの【SAZANAMI】。「何度も勇気付けてくれた彼の曲を引き継いでいきたい」との思いを語る。原曲をご存知ない方も、KOUTAROさんのエピソードと悲歌のメロディで目を潤ませていた。木の楽器を木の空間で聴く贅沢。その深みある空気感は、築300年の日本家屋客間に自然と溶け込んでいた。

<http://www.syoubei.com> 桜の庄兵衛ギャラリーのホームページです。ぜひご覧ください。

●さわさわと風も緑にコンサート お申込み要領

お問い合わせは 06-6852-3270 (奥野) まで
※お電話は、9:00~12:00の間でお願いいたします。

参加費 ¥2,500
※当日、会場受付にてお支払いください。

定員 90名・全席自由席
※定員になり次第、締め切りとなりますので、お早めどうぞ。

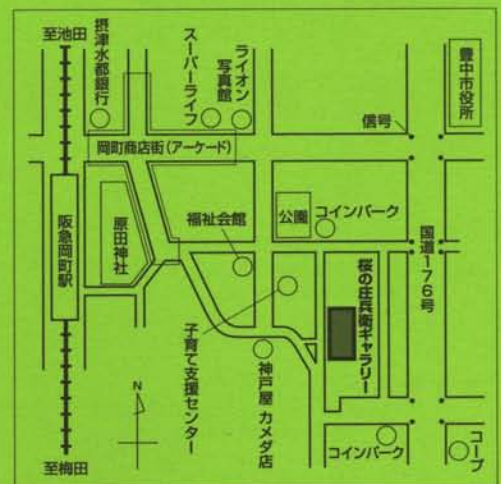
会場 桜の庄兵衛ギャラリー
豊中市中桜塚2-30-35
TEL 06-6852-3270
阪急宝塚線「岡町駅」下車・徒歩約8分

1 申込方法 官製ハガキに下記の必要事項をご記入になり、お席をご予約ください。
※グループでお申込みの場合、代表の方がお申込みください。

宛先	ご記入事項
〒561-0881 豊中市中桜塚 2-30-35 桜の庄兵衛 宛	●ご氏名(ふりがな) ●ご住所(郵便番号) ●お電話番号 ●ご希望の時間帯 昼の部または夕の部 ●ご参加人数(計○名) ●グループ全員の ご氏名(ふりがな)

ご予約を受付次第、ハガキでご返信申し上げます。
※グループでお申込みの場合は、代表の方にのみご返信申し上げます。

代表者以外の方は、
当日受付にご氏名を
お告げください。



2 申込方法 ファックスでもお申込みいただけます
※上記と同じ内容をご送信ください。ご予約を受付次第、ハガキにてご返信申し上げます。

ファックス番号 06-6852-3270

3 申込方法 インターネットでもお申込みいただけます
※上記と同じ内容をご送信ください。ご予約を受付次第、e-mailにてご返信申し上げます。

e-mail address syoubei@tcct.zaq.ne.jp